

(宮本副会長)

「自治体病院等広域化・連携構想（素案）」を協議、了承された。最終案には、市町村財政の状況を明らかにし、病院経営の財政負担について、自治体病院を持たない自治体を含め地域全体で支える負担のあり方を盛り込む。あくまで地域が主体となって議論し、決定して欲しいとして、1月以降開催される各地域の検討会に委ねることとした。

(5) 第2回北海道医療費適正化計画検討協議会[12月19日(水)]について(畑副会長)

第1回協議会において、北海道は地域特性があるので、全国レベルでの統一的計画には当てはまらないとして、療養病床数を含め、修正を要望していた。今後のスケジュールは、1月にパブリックコメントを求め、計画の最終原案を決定し、公表の運びとなる。医療側の意見は一通り述べたつもりである。厚労省の話では、全国的に足並みが揃っていないとのことである。

(6) 第8回北海道医療対策協議会地域医療を担う医師養成検討分科会[12月21日(金)]について(長瀬会長)

地域枠入学者が地域に派遣可能となるまでの間の短期的対策としての大学院生および初期・後期臨床研修医を対象とする貸付金制度と、道内医育大学の定員増について協議した。また研修医マッチング状況について報告があった。

11. 各部報告

(1) 第4回医療保険部担当理事会[12月20日(木)]について(西里常任理事)

平成20年度の事業項目と予算について検討した。引き続き「処方せん偽造防止対策への協力」「診療報酬請求書等の提出協力日の廃止」に関

する周知について協議した。また「生活保護法に関する証明書等の料金」に関し意見交換した。

(2) 第2回医療関連事業部担当理事会[12月20日(木)]について(北野常任理事)

平成20年度の事業項目および予算等について検討を行い、「開業の動機と開業前の就労に関するアンケート調査結果」と「勤務医のアンケート調査」について協議した。

道総医協関連事項

1. 第3回地域保健専門委員会[12月12日(水)]について(畑副会長)

北海道がん対策推進計画の素案について、協議を行った。なお、本計画案は1月にパブリックコメントを募集し、その後、文言等を整理して成案となる予定。

2. 計画特別委員会[12月18日(火)]について

(宮本副会長)

20年度から始まる「北海道保健医療福祉計画(仮称)」「北海道医療計画(仮称)」の素案について協議した。「北海道医療計画(仮称)」の中で、脳卒中(急性期・回復期)と急性心筋梗塞(急性期)の医療機能および医療機関名の公表基準を示すことが了承された。2計画ともに1月以降、道民等へのパブリックコメント、地方意見を聞く会(道内6カ所)を経て原案作成、道議会へ案を提示し、医療審議会への諮問の後、3月末に計画決定となるスケジュールが示された。

3. 第3回救急医療専門委員会[12月19日(水)]について(目黒常任理事)

第三次救急医療体制の確保に関する基本的な考え方についての報告の後、本道における航空医療体制のあり方について協議を行った。

新規指定医療機関

●平成19年12月15日

医療機関名称	所在地・電話番号	開設者・管理者氏名
くにちか内科クリニック	006-0851 札幌市手稲区星置1条4丁目7-2 ☎011-688-1133	國近 啓三
医療法人社団共生会 江別醫人館診療所	067-0012 江別市2条5丁目9-2 江別みらいビル2階 ☎011-384-7000	医療法人社団共生会 阿部 毅